

2019年度(第8回)定時総会資料

第1号議案

議事録署名人名選出の件

特別講演(栄養士・管理栄養士研修会)、総会議事を次のとおり開催した。

第2号議案

平成30年度事業報告および収支決算報告並びに監査

日時 平成30年5月26日(土)10時~14時40分

報告承認の件

場所 千葉市美浜区若葉2-10-1

第3号議案

役員選任の件(補欠)

千葉県立保健医療大学 図書館棟大講義室

内容 総会式典 10:00~10:40

特別講演 10:40~12:20

「栄養士法の改正の概要とその目指すもの」

講師 (公社)日本栄養士会監事・弁護士

早野 貴文

総会議事 13:25~14:40

出席者数 946名(内委任状834名)

平成30年度事業報告

1. 平成30年度定時総会の開催

平成30年度定時総会は、千葉県健康福祉部次長 大谷俊介氏、千葉県議会議員・本会顧問 佐野彰氏をはじめとする8名の来賓をお迎えして式典を行い、引き続いて

平成30年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などをとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項第1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育等の領域において、栄養指導と食事療法を掌る栄養士・管理栄養士の実務をとおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学などに跨る食と栄養の学術および科学技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図るものである。
6号	本事業は、「事業の内容」欄に記載した一連の取り組みなどをとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図り、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、4つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2)2つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3)3つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4)4つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならではの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。</p> <p>以下に平成30年度事業の実施概要を記載する。</p>	
<p>1. 食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業(定款第4条第1項第1号)</p> <p>1. 栄養・健康に関する調査研究事業</p> <p>1-1 栄養指導研究所の運営(学術部)</p> <p>栄養士・管理栄養士の栄養指導・食事療法の技術の開発・研究への支援や普及などに関する事業を充実させ、それをもとに食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に寄与することを旨とするため、各職域事業部における研究業務の推進及び栄養士・管理栄養士の研究業務の推進と研究論文の作成の指導、千葉県栄養改善学会の企画などの充実にも努めた。また、栄養千葉に「栄養指導研究所だより」の執筆、千葉県栄養士会雑誌の企画・立案、ホームページ「現代食事考・かしこく食べる」の見直しなどを行った。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④栄養士・管理栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】</p> <p>2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興</p> <p>2-1 千葉県栄養改善学会の開催(学術部)</p> <p>栄養学と栄養改善技術に関する最新の知見に基づく講演・シンポジウム、栄養士・管理栄養士による研究発表などを行う学会を開催して、さまざまな職域分野で働く栄養士・管理栄養士の研究を集約し、よりおいしく安全な食事作りや効果的な栄養指導・給食管理・食事療法などの充実を図ることを目指した。平成30年度は、平成31年2月2日(土)千葉県立保健医療大学において、「平成27年県民健康・栄養調査の結果と健康ちば21(第2次)栄養・食生活分野における課題」と題し、千葉県健康福祉部健康づくり支援課 武藤由美子・片寄静香両氏による特別講演と「食は県民性では語れない」と題した日本経済新聞特任編集委員 野瀬泰申氏の文化講演を実施した。また会員からの一般口演(22演題)と協賛会員による優良商品の展示を行った。参加者数は183名であった。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④栄養士・管理栄養士、日本経済新聞特任編集委員 ⑤単独 ⑥非該当】</p> <p>2-2 「食育媒体の作製と開発」の実技研究会の開催(福祉)</p> <p>平成30年度は実施しなかった。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④講師は食育指導士 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	

2-3 事例研究会の開催（地域活動）

県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発を目指し、様々なライフスタイルに即した指導方法の研究に努める。平成31年2月18日（日）に本会事務所において食に関する事例として「無洗米について」をテーマに全国無洗米協会の鈴木敬子氏・高野江由架理氏に講話・体験をお願いし19名の参加を得て実施した。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野で働く栄養士・管理栄養士に最新の情報と知識を伝え、業務に活用することを目的として、食や栄養に関する学術文、栄養改善奨励賞受賞者の発表内容、各職域の実践事例報告、活動だよりなどを掲載し、「栄養千葉」発行に併せて3回（4月、8月、12月）発行した。

記事は、県民や会員外の栄養士・管理栄養士も読むことができるようにホームページに掲載するとともに、事務所掲示板に掲載した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③雑誌発行 ④委員会で企画・編集 ⑤非該当】

2-5 栄養士調理師合同研究発表会の開催（医療）

病院で共に働く栄養士・管理栄養士と調理師が、日頃の治療食や栄養指導などに関する研究を発表して、その事例や知見を普及し治療期間の短縮、疾病の再発防止、および、病院給食の質の向上に役立てることを目的に、10月14日（日）に千葉大学医学部附属病院において46名が参加して開催した。内容は、研究発表8題と特別講演として「地域連携とりハ栄養」と題し、東京都保健医療公社大久保病院リハビリテーション科 医長 御子神由紀子氏による講演を行った。

【①栄養士・管理栄養士、調理師 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

3-1 「『地産地消』レシピ」の考案と普及（事業部）

健康づくりや食育の推進と千葉県の豊かな食材の活用、食文化の継承・発展に役立てることを目的に、平成29年度の食育健康料理教室の実施にあたって考案したレシピ（料理）のうち、広く普及することが必要と思われるレシピを四季に分類し、ホームページに地産地消レシピとして掲載した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③開発 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。平成30年度の各種委員会・会議は以下のとおり。

千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進協議会、千葉県アレルギー対策協議会、千葉県米消費拡大推進協議会、千葉県食品等安全・安心協議会、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会、千葉県介護専門協議会、千葉県介護予防市町村支援検討会議

【①県民 ②県の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（千葉地域）

千葉市の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の策定に協力した。千葉市内各区分で開催される多職種連携会議に参加して地域の取り組み推進にかかわるとともに、千葉市在宅医療推進協議会に参画し連携体制の構築に努めた。平成30年度の委員会・会議は以下のとおり。

千葉市健康づくり推進協議会、千葉市地域保健医療協議会、健やか未来都市ちばプラン推進協議会、千葉市学校給食センター運営委員会、千葉市在宅医療推進連絡協議会

【①市民 ②千葉市の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として実施した。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの掲載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施に当たっては、適宜、関連科学の定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同して、理論および実用性の両面において高い質の確保に努めた。

その他、県民の健康を衛る食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を実施した。

事業番号	事業の内容
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯教育の推進および養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業
定款上の根拠	第4条第1項第2号
事業の種類（認定法別表）	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、「事業の概要」の欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。健康増進法（平成14年8月2日法律第103号）第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかる人材の養成および資質の向上を図る」ことをあげているところであり、栄養士・管理栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に適用されるものである。
	事業の概要 【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】
	この事業は、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。栄養士・管理栄養士の人材育成事業であり、3つの柱から成り、(1) 1つ目の柱は、基幹研修制度で、中核事業が継続教育・生涯教育研修会である。すべての栄養士・管理栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる研修事業である。(2) 2つ目の柱は、職域研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の深耕・発展を図る研修を行う。(3) 3つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取り組みにより、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士の育成に努めた。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。
以下に平成30年度事業の実施概要を記載する。

Ⅱ. 健康づくりに貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業（定款第4条第1項第2号）

1. 継続教育・生涯教育事業－基幹研修制度

1-1 生涯教育研修会の開催（学術部）

栄養士・管理栄養士は科学の進歩と社会の変化に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められる。そこで従来から行ってきた生涯学習から、キャリア形成を支援できる制度とするために、平成26年度から生涯職能開発の考え方を取り入れた生涯教育制度へ移行された。目的は、「単位」や「認定」の取得にあるのではなく、栄養士・管理栄養士として国民のために役立つ能力を身につけることである。生涯教育には「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得するための基幹教育と、専門とする分野ごとに専門性を高める拡充教育がある。基幹教育は基本研修と実務研修があり、平成30年度は基本研修として必須科目7単位を含む10単位と実務研修7単位を6月10日（日）、7月22日（日）、8月26日（日）、9月8日（土）、10月28日（日）の5日間にわたって開催した。受講者数は101人で、延べ取得単位は800単位であった。

開催に際しては、開催案内を発送するほか、ホームページに掲載するなどして広く、栄養士・管理栄養士の参加を募った。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は栄養士・管理栄養士、医師等の関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 日本栄養士会との共同研修事業の実施（事業部、医療）

（公社）日本栄養士会との共同で栄養士・管理栄養士として対応すべき全国的課題を素材に、地域性を生かして実践できる技術、能力を身に付ける研修事業として行った。平成30年度は「指導者のための健康・栄養セミナー」として11月18日（日）に大塚製薬株式会社東京支店千葉営業所会議室において、「わたしたちの健康を支える免疫と乳酸菌」、「免疫と栄養」の2題をテーマとしたセミナーを実施し49名が参加した。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は医師などの関連職種、大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

1-3 よりソリプロジェクト・人材育成研修会の開催-地域ケア会議に参加できる人材の育成-（学術部）

地域包括ケア推進における栄養士・管理栄養士の役割の明確化と、地域ケア会議や市町村単位で進められている介護予防・日常生活支援総合事業に対応できる人材の確保と育成、継続したスキルアップ体制の確立に向けて研修を行った。第1回目を7月8日（日）に千葉県栄養士会事務所で、第2回目を9月29日（土）にパレット柏で開催した。講師はワーキング参加者2名が務め、参加人数は合計41名であった。

【①管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

1-4 栄養士・管理栄養士研修会（総会時特別講演）（総務部）

定時総会時に当該年度の栄養士・管理栄養士の活動を考える上での基本的な事柄について講演をいただくことを目的に、平成30年度は総会式典終了後に、「栄養士法改正の概要とその目指すもの」と題して、公益社団法人日本栄養士会 監事・弁護士 早野貴文氏に講演をいただいた。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④講師は大学教授または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2. 特定職域・特定種類業務研修事業－職域研修制度

公衆衛生事業部

(1) 中央研修会

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成30年 4月24日(火)	第1回 中央研修会	講演1 「食物アレルギーの基礎知識と食事指導」 講師 千葉県こども病院 アレルギー・膠原病科 主任医長 山出 晶子 講演2 「食物アレルギー児の親が抱える悩みへの対応」 講師 千葉県アレルギー相談センター 医師 永山 洋子 説明 「平成30年度健康づくり・栄養改善事業について」 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班 主査 高橋 希	千葉県教育会館	78名 (他事業部9名) (会員外4名)
10月6日(土)	第2回 中央研修会	講演 「高齢者の糖尿病予防について」 講師 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 教授 田中 和美 事例発表 助言者 千葉県立保健医療大学 栄養学科 准教授 荒井 裕介 ① 「BMI 18.5kg/m ² 未満の若年女性の生活習慣病の リスクに関する検討」 銚子市健康づくり課 副主査 宮内 眞紀 ② 「大学生の食を通じた健康づくり推進事業について」 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 主査 高橋 希 講話 「実践事例報告のまとめ方①」 講師 千葉県立保健医療大学 栄養学科 准教授 荒井 裕介	千葉県教育会館	94名 (他事業部13名) (会員外3名)

(2) ブロック研修会

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出 席 数
東 葛	平成30年 5月17日(木)	【健康福祉センター・保健所業務検討】 (1) 業務検討 事業所給食施設指導事業について (2) 情報交換 平成30年度重点事業について	松戸健康福祉 センター	7名

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出 席 数
	10月2日(火)	【健康福祉センター・保健所業務検討】 (1) 業務検討 事業所給食施設指導事業について (2) 情報交換	船橋市保健所	7名
	平成31年 2月14日(木)	【健康福祉センター・保健所業務検討】 (1) 業務検討 事業所給食施設指導事業について	松戸健康福祉 センター	5名
	平成30年 7月25日(水)	【市栄養士業務連絡会】 (1) 平成30年度実施事業について(重点及び新規事業等) (2) 災害時の栄養・食生活支援について 他	流山市 保健センター	20名
	平成31年 2月19日(火)	【市栄養士業務連絡会】 (1) 業務検討・情報交換 ①成人や高齢者を対象とした講座について ②腸内細菌検査について (2) 情報交換 ①母親学級、乳幼児健診での配布資料 ②糖尿病性腎症重症化予防事業に関わる資料等 ③集団検診等における食生活改善に関する啓発資料	八千代市 保健センター	18名
黒 潮	平成30年 8月31日(金)	(1) 業務検討 健康福祉センター：食品表示指導について 市町村：母子関連事業(就学前)について (2) 講演会 講演 「乳幼児期の食行動の発達と偏食」 講師 共立女子大学 家政学部 児童学科 教授 河原 紀子	長生健康 福祉センター	45名 (他事業部8名) (会員外4名)
	平成31年 1月28日(月)	(1) 事例発表 ①演題 「糖尿病予防に向けた活動 ～集団健診地区別アンケート調査からみえたこと～」 横芝光町健康こども課 伊藤 美貴子 ②演題 「今後の栄養改善事業について考える ～食塩・減塩に関するアンケート調査結果から～」 長南町健康保健課 加藤 晃子 (2) 講話 講話 「健康ささらづ21について～計画の評価及び見直し～」 講師 木更津市健康こども部健康推進課 副主幹 榎本 純子 主査 子安 薫	長生健康 福祉センター	19名
さざなみ	平成30年 6月20日(水)	(1) 講演 講演 「千葉県糖尿病性腎症重症化プログラムについて ～管理栄養士に期待される役割～」 講師 千葉県市原健康福祉センター(市原保健所) センター長 藤川 真理子 (2) 業務検討 健康福祉センター：給食施設指導について① 給食施設種別指導のポイント 市町：母子保健の組織体制について (切れ目のない支援)	市原健康 福祉センター	17名
	9月11日(火)	(1) 業務検討 健康福祉センター：給食施設指導について② 給食施設種別指導のポイント 市町：成人に対する栄養指導や媒体ツールの検討	安房健康 福祉センター	11名
	平成31年 2月25日(月)	(1) 業務検討 健康福祉センター：給食施設指導について③ 給食施設種別指導のポイント 市町：食生活改善協議会の事業展開の方法について	君津健康 福祉センター	12名
千 葉 市	平成31年 2月15日(金)	研修会 講演 「食育推進及び栄養改善のためのアプローチ方法」 講師 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター 栄養管理室長 宮本 佳世子	千葉市保健所	9名
医療事業部 (1) 中央研修会				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成30年 4月22日(日)	研 修 会	講演 「診療報酬改定について」 講師 公益社団法人日本栄養士会医療事業部 企画運営委員長 石川 祐一	千葉商工会議所	94名 (会員外4名)

(2) 地区研修会				
地 区	期 日	内 容	会 場	出 席 数
千葉地区	平成30年 6月16日(土)	講演 「糖尿病とのあゆみ～医師・患者双方の立場から」 講師 千葉大学大学院 熊谷 仁	井上記念病院	2名
	平成30年 11月21日(水)	「施設見学」 厨房施設、リハビリ室等	千葉みなとりハビ リテーション病院	11名
	平成31年 1月23日(水)	「施設見学」 ハラル対応について理解を深める	千葉大西千葉キャン パス内フードコート	7名
東葛南部	平成31年 2月16日(土)	講演 「エビデンス(根拠)のある栄養管理～明日から 使える!!今さら聞けない文献・エビデンスのある 検索講座」 講師 千葉県済生会習志野病院図書室・患者図書室 あおぞら 図書館司書 佐藤 正恵	船橋市中央公民館	9名
東葛北部	平成31年 2月3日(日)	講演 「認知症の基礎知識と食事の工夫」 ～食思不振の原因と対策～ 講師 松戸市立福祉医療センター東松戸病院 認知症看護認定看護師 川崎 智恵	さわやかちば県民 プラザ	17名
印 旛	平成30年 9月25日(火)	講演 「経腸栄養管理における消化管トラブルの新潮流」 講師 医療法人社団悦伝会 目白第二病院 副院長 水野 英彰	東邦大学医療セン ター佐倉病院東棟 1階 講義室1・2	40名
	11月10日(土)	講演 「カーボカウントの基礎(糖質)について 血糖変化を 体験してみよう-第1弾-」 講師 黄内科 管理栄養士 岩井 弘美	佐倉市ミレニアム センター佐倉4階 調理実習室	13名
香取海匠	平成30年 9月14日(金)	講演 「嚥下障害について」 講師 イムス佐原リハビリテーション病院 リハビリ科 言語聴覚士 岡野 寿也	イムス佐原リハビ リテーション病院 会議室	16名
山 武 長 生 夷 隅	平成30年 9月15日(土)	講演 「嚥下調整食について」 講師 日東ベスト株式会社 内田 真帆子	東千葉メディカル センター	14名
	平成31年 1月26日(土)	講演 「サルコペニアと栄養」 講師 大塚製薬工場株式会社 北浦 守太	いすみ 医療センター	11名
安 房	平成30年 7月17日(火)	講演 「肝硬変の病態と栄養療法、肝硬変に伴う サルコペニア」 講師 大塚製薬(株)千葉支店学術部 佐藤 亜希、中野 篤	亀田総合病院	21名
	平成31年 1月23日(水)	講演 「輸液の基礎について」 講師 株式会社大塚製薬工場千葉支店 係長・医療経営士 浪川 修平	安房地域 医療センター 第2会議室	21名
君津市原	平成30年 9月28日(金)	講演 「一般病棟におけるオピオイド使用患者の栄養評価」 講演者 君津中央病院 薬剤科 大木 健史 講演 「がんと栄養」 講師 藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座 東口 高志	君津中央病院 4階講堂	40名
		延べ件数13件	延べ参加数222名	
(3) 機関紙の発行 8月、12月、3月 機関紙発行「菜の花」96～98号 各550部				
学校健康教育				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成30年 5月19日(土)	研 修 会	栄養教諭・学校栄養職員研修会 「今さら聞けない 砂糖の話」 講師 三井製糖株式会社 松雪 遥	千葉県教育会館	14名 (会員外1名)
6月30日(土)	研 修 会 (研究教育共催)	「機能的農産物の開発 健康課題への対応」 講師 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食農ビジネス推進センターセンター長 山本 万里	淑徳大学千葉第2 キャンパス	106名 (学生84名)
11月3日(土)	勉 強 会	魚の食べ方を学ぶための教材作成	公益財団法人千葉 県学校給食会	45名 (会員外18名)
平成31年 2月23日(土)	研 修 会 (研究教育共催)	講演及びグループワーク 「学校給食の献立計画の教材化とマネジメント」 講師 桐生大学医療保健学部 栄養学科 教授 宮原 公子	公益財団法人千葉 県学校給食会	27名 (会員外5名)
福祉事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成30年 4月19日(木)	研 修 会	講演 「子どもから高齢者までの水分補給」 講師 株式会社大塚製薬工場 松井 正彦	千葉市民会館	49名 (会員外2名)

7月13日(金)	研 修 会	<午前の部> 講演 「平成30年度介護報酬改定について」 講師 神奈川県立保健福祉大学 教授 杉山 みち子 <午後の部> 講演 「高齢者の口から食べる楽しみの支援の充実」 講師 介護老人保健施設リハパーク舞岡 管理栄養士 荻部 康子 講演 「介護報酬改定への対応～栄養情報提供書を学ぼう～」 講師 千葉県栄養士会医療事業部企画運営委員長 管理栄養士 佐々木 徹 演習 日本栄養士会福祉事業部スキルアップ研修伝達研修（栄養情報提供書の書き方）	千葉市民会館	102名 (会員外30名)
8月23日(木)	研 修 会	講演 「食物アレルギーの食事と管理 離乳食や保育場面での対応について」 講師 昭和大学医学部小児科学講座 管理栄養士 長谷川 実穂	千葉市民会館	56名 (会員外11名)
10月5日(金)	施 設 見 学 会	施設見学：配膳方法、栄養と多職種との連携、コミュニケーションの取り方、患者様ファーストの精神を学ぶ	亀田総合病院	20名
平成31年 1月29日(火)	研 修 会	講演 「高齢化への食事支援の考え方と手法」 講師 日本大学歯学部摂食機能療法講座 教授 植田 耕一郎	千葉市民会館	61名 (会員外7名)

地域活動事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成30年 4月28日(土)	研 修 会	演題 「地域包括ケア推進をはかるための伝達講習 (よりソリプロジェクト事業)」 講師 東葛北部栄養ケアステーション代表 中村 信子	千葉市蘇我コミュニティセンター	35名 (他事業部1名)
6月14日(木)	視 察 研 修 会	施設見学と講話：食事指導に不可欠な「うま味」の理解を深める	味の素(株)川崎工場うま味体験館	14名
6月17日(日)	研 修 会	演題 「次世代の健康は周産期の栄養で決まる～DOHaDの視点から～」 講師 早稲田大学ナノライフ創新研究機構規範科学総合研究所 招聘研究員 福岡 秀翁	千葉市生涯学習センター	41名 (他事業部11名) (会員外2名)
10月1日(月)	視 察 研 修 会	施設見学と試食：魚市場・明太子工場での見学および郷土料理についての研修	那珂湊おさかな市場・かねふくめんたいパーク他	15名
10月31日(水)	研 修 会	演題 「食文化について」 講師 千葉県伝統郷土料理研究会会長 杉崎 幸子	蘇我コミュニティセンター	20名
平成31年 1月21日(月)	情 報 交 換 会	和食における食材の活かし方を学ぶとともに、地域ケア活動について会員相互の意見交換を行う	山武市「ウシマル」	15名
8、12、3月	機 関 誌 発 行	169～171号 各300部		

研究教育事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成30年 6月30日(土)	研 修 会 (学校健康教育共催)	講演 「機能的農産物の開発 健康課題への対応」 講師 食農ビジネス推進センター センター長 山本 万里	淑徳大学千葉第2キャンパス	106名 (学生84名)
平成31年 2月23日(土)	研 修 会 (学校健康教育共催)	講演及びグループワーク 講演 「学校給食の献立計画の教材化とマネジメント」 講師 桐生大学医療保健学部栄養学科 教授 宮原 公子	公益社団法人千葉県学校給食会	27名 (会員外5名)

千葉地域事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成30年 6月14日(水)	栄 養 ・ 衛 生 管 理 研 修 会	演題 「和食の魅力を未来につなぐために」 講師 東京家政学院大学名誉教授 江原 絢子	千葉市総合保健医療センター	228名
9月12日(水)	健 康 づ くり 研 修 会	演題 「食品ロスの現状と対応～給食施設にできること～」 講師 千葉市環境局循環部廃棄物対策課 倉橋 和瑚 産業廃棄物指導課 土井 慎一	千葉市総合保健医療センター	155名
平成31年 1月24日(木)	病 態 栄 養 研 修 会	演題 「CKDについて～予防から治療まで～」 講師 独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院 内科診療部長 長谷川 茂 副栄養管理室長 白田 有希	千葉市総合保健医療センター	107名

いずれの事業も【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は栄養士・管理栄養士、医師などの関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】として行った。

3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業（組織部）

公益目的事業を適正かつ円滑に行ううえで重要な人材の確保のため、本会の行う事業の必要性や意義などについて組織財政問題検討委員会において組織強化長期計画推進の取り組みなどの理解を深めてきた。そのための活動として、栄養士・管理栄養士の職業倫理や使命、公益目的事業の内容、職域事業部の活動などを紹介することを目的として作成した「入会のおすすめ」は、「入会案内」と名称を変更し、無料職業紹介所の紹介を加えるとともに、イラスト等で紙面を刷新した。医療事業部、福祉事業部の協力を得て県内の施設名簿を活用して未加入者への入会の案内文書の発送を行った。

また、栄養千葉8月号発送時に、全会員に対し身近にいる未加入者に対し入会の案内を働き掛ける文書を同封して入会の促進に努めた。

これらの他、卒業予定者への入会の働き掛けとして養成施設6校に対して「入会案内」などの配布を行うとともに、時間を設けていただいた3校に会長が出向いて直接専門職業人として継続して研修を積む必要性や組織の重要性などについて説明し理解を得て入会の促進に努めた。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、③その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥該当なし】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第2号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、研修等の内容や開催日時、受講資格が開かれていることなどをホームページ、雑誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には、実務家養成の見地から、適宜、定評のある研究者（大学教授）、専門職、その他の専門家を招くなどして理論的にも実践的にも高い質の確保に努めた。

その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う栄養士・管理栄養士を育成することをとおして、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設的相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物などによる知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みをとおして、県民の健全で稔り豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業

定款上の根拠 第4条第1項第3号

事業の種類(認定法別表) 事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係

6号 健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。

本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9号)にも該当する。

9号 健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を規定しており、これを受けて、本事業は、「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。

本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9号)にも該当する。

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、本事業は、栄養士・管理栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民のかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、3つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、個々の県民の個別性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。(2)2つ目の柱は、食生活の改善をもって県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。(3)3つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事業である。この3つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多種多様な活動をおとして、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。

以下に、平成30年度事業の実施概要を記載する。

Ⅲ. 県民が健康で稔り豊かな生活を営むことができるよう支援する事業（定款第4条第1項第3号）

1. 個別特性対応型の自律支援事業

1-1 テレフォン栄養相談事業（広報部）

第2、第4月曜日の10時から16時まで、食と栄養に関する疑問を直接電話で受け、相談員が回答する「食べ物なんでも相談」を実施した。事業の適正な運営を図るため、9月、3月の2回担当者会議を開催した。相談件数の増加に向けて、事業の案内を千葉日報「現代食事考」の記事の後に記載するほか、千葉県中小企業団体中央会「情報誌」に掲載した。

また「湯けむり・みはま」の協力を得て、引き続きカタログスタンドを設置して案内チラシを置いた。本会ホームページのトップページに本事業の案内を掲載している。併せて、食育健康料理教室、講演会などでもチラシの配布を行った。30年度の相談件数は17件であった。相談内容は、脂質異常症に関するものが多かった。

【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 特定保健指導の実施（総務部）

前年度に引き続き、中央建設国保千葉土建かずさ支部および千葉支部の初回指導および6ヶ月の継続指導などの個人指導を行うほか、保健指導の受講率の向上を図るため、健診時腹囲の他1つ以上保健指導の要件のある者に対し初回面談を行い、かずさ支部、千葉支部の健診時に担当者が向向して個人面談を実施した。

これらを含め延べ44名（動機づけ支援17名、積極的支援27名）に対して保健指導を実施した。また、担当者の育成・確保のため5月19日（火）に研修会を実施し、担当者を増やした。

【①県民 ②主催者の広報、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

1-3 介護予防栄養改善事業の実施（総務部）

（株）ダンロップスポーツウエルネスの依頼を受け、成田市赤坂ふれあいセンターにおいて行われた介護予防教室の栄養改善を担当し、7月19日（木）と2月7日（木）に講演を行った。1回目の参加者は51名、2回目は45名であった。

また、地域包括支援センターにおける栄養改善事業への管理栄養士の積極的な参加を図るため、医療および高齢者福祉施設勤務経験者などの人材確保に努めるとともに、関係機関からの情報を入手するなど、必要な取り組みを行った。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

1-4 日赤「低ヘモグロビン献血者に対する健康相談」事業（事業部）

日赤からの依頼がなく、平成30年度は実施しなかった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

2. 集団特性対応型の自律支援事業

2-1 千葉市健康づくり大会への協力事業（千葉地域）

10月13日（土）に千葉市きばーで開催された市民健康づくり大会に、関係団体と協力して食生活・栄養・病態栄養のコーナーの運営にあたった。パネルや食品模型などの展示や、野菜や食塩に関するクイズで楽しく学んでもらい、市民の食と栄養を通じた健康づくりに寄与した。コーナー来場者は317名で、22件の相談に応じた。運営には会員10名が担当し、延べ来場者数は4957名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-2 がん予防展への協力事業（事業部）

9月はがん征圧月間に当たり、千葉県、（公財）ちば県民保健予防財団、千葉県がんセンターの主催により、「がん予防展・がん講演会」が県内の主な市街地のショッピングセンター内で開催され、がん予防・健康増進の意識高揚に努めた。9月1日（土）～2日（日）にイオンモール銚子において開催された。開催地域の香取海浜地区の医療事業部会員3名が協力し、パネル展示やがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談を行い、コーナーへは192名が来場し好評であった。催しへの参加者は2日間で延べ5,288名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③展示、相談・助言 ④栄養士・管理栄養士、関連専門職種 ⑤協力 ⑥非該当】

2-3 地域健康づくり推進事業（医療）

県内8地区の活動として、地区内の自治体、または、医療機関、および他職種の機能団体が開催する健康増進に関するイベントに参加、協力し、地域住民に対する展示や食生活相談などを行った。

香取海浜地区 看護の日「栄養相談」 5月12日（土）イオンモール銚子

東葛南部地区「健康フェア」 10月20日（土）千葉県済生会習志野病院

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催・協力 ⑥非該当】

2-4 看護の日行事への協力事業（千葉地域）

千葉県看護協会千葉地区の行う看護の日の行事が、5月12日（土）ハーモニープラザで開催され、会員2名が協力し栄養相談などに応じた。相談件数は8件であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-5 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催（事業部）

栄養改善普及月間の行事として、食生活の改善に携わる栄養関係3団体（本会・千葉県食生活改善協議会・千葉県集団給食協議会連合会）の共催により9月27日（木）に千葉県他の後援を得て千葉県教育会館において開催した。

2部構成とし、第1部は「大会式典」、第2部は県民の参加を得て「健康づくり食生活講演会」として、神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 教授 鈴木志保子氏による「100歳目指して健康づくり」の講演を行い、主催団体会員及び県民400名が参加した。

【①県民 ②事務所掲示板、千葉日報新聞、ホームページ、他 ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

2-6 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

県民を対象に生活習慣病などを予防し、健康寿命を延伸させるための知識を深めることを目的として、8月5日（日）に千葉県立保健医療大学を会場に開催した。講座1「健康づくりについて考えてみませんか」と題して千葉県立保健医療大学学長 田邊政裕氏に、講座2「楽しく実践！グーパー食生活」は千葉県立保健医療大学栄養学科長 渡邊智子氏に、講座3「健康づくりのためのコンディショニング&エクササイズ」は“Total Conditioning Works”健康運動指導士 金坂孝氏にそれぞれご講演いただいた。今年度は「栄養の日」関連事業として、栄養週間に行い「栄養の日：健康づくり栄養講座」とした。参加者は50名であった。

【①県民、②事務所掲示板、ホームページ千葉日報・毎日新聞千葉版への掲載、チラシの配布 ③講座・セミナー ④大学研究者、専門職 ⑤単独 ⑥非該当】

2-7 食育健康料理教室の開催（事業部）

この事業は、平成16年度から公民館などを利用して、健康づくりと生活習慣病の予防、食育の推進を目的として県民に直接望ましい食と栄養についての実習を通じて話しかける事業として開始した。適正・円滑な運営を図るため、手引きの作成と担当者会議を開催し、「千葉の野菜で元気もりもり」をテーマに統一メニューを作成、8月～2月に10会場（船橋市2会場・市原市・松戸市・千葉市3会場・銚子市・浦安市・富里市）で開催、延べ参加人数は173名であった。

【①県民 ②事務所掲示板、実施会場でのチラシなどの配布、親子料理教室の場合は近隣の小学校に依頼 ③体験学習（料理教室）④栄養士・管理栄養士が企画・実施 ⑤単独 ⑥非該当】

2-8 講演会・料理教室などでの講演の実施（総務部）

関係機関・団体等の依頼に応じて、健康づくりや生活習慣病予防に関する各種講演会、研修会、料理講習会、栄養指導などを行って、食と栄養を通じた健康づくりの支援を行った。

平成30年度は6件の依頼に対して延べ20名が講師を務めた。

【①県民 ②主催者の広報 ③講座・セミナー、体験学習（調理実習） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-9 親子料理教室の開催（学校健康教育）

今年度の親子料理教室は7月24日（火）市川市男女共同参画センターにて、市川市立第二中学校区の小・中・特別支援学校の親子26名が参加し学校給食の献立の調理実習を行った。給食への関心が高まり、好評であった。習志野市では、8月5日（日）野球部対象のスポーツ栄養講座として、保護者対象の講話、部員対象の講話（保護者同席）、親子料理教室という流れで実施した。親子12組、24名が参加した。保護者との連携を図りながらスポーツにおける栄養管理の大切さについて理解と関心を深めることができた。

【①県民 ②該当する学校へのチラシの配布 ③体験活動（料理教室）、講習・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-10 千葉市食育の日事業への協力（千葉地域）

千葉市主催で6月23日（土）イオンタウンおゆみ野で食育のつどいが開催された。食育月間の行事として千葉市関係団体が協力し、本会は野菜に関するクイズや食育のパネル展示・媒体を活用して～かしこく食べよう～をテーマに健康・食生活の相談を行った。会員6名が担当し総来場者数は7066名だった。コーナー来場者は342名だった。

【①県民 ②千葉市の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-11 調理補助講習事業への協力事業（事業部）

（公社）千葉県シルバー人材センター連合会の求めに応じて、派遣就業を希望する高齢者の就業機会の拡大を図るため、調理補助者などとして必要な知識を習得することを目的として、調理実習と講話を実施してきたが、平成30年度は依頼がなかった。

【①県民 ②シルバー人材センターの行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-12 千葉県学校保健学会への協力事業（学校健康教育）

12月1日（土）昭和学院短期大学で行われた第22回千葉県学校保健学会にてポスターセッションを行なった。健康教育、学童期における食育の推進、和食文化の継承というテーマで、今年度は、魚を上手に食べるための教材について実物を見せながら紹介した。数名の参加者がポスターセッションに来訪し、和やかな中にも有意義な研修であった。

【①栄養士・管理栄養士、関連職種 ②主催団体の行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士、関連職種 ⑤協力 ⑥非該当】

2-13 ウエルネスセミナー開催への協力事業（事業部）

大塚製薬㈱からの依頼で2回実施した。①9月12日（水）成田国際文化会館において㈱ナリタヤの第10回健康セミナーとして「元気に毎日を過ごそう！～食事と運動のポイント～」のテーマで講演を行い、参加者は110名であった。②10月26日（金）海上公民館において、千葉県教育庁北総教育事務所主催で「カラダづくりと栄養」のテーマで講演し、参加者は100名であった。

【①県民 ②主催団体の行う広報、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-14 災害時栄養支援事業（総務部）

平成30年度は、スタッフスキルアップ研修会を10月20日（土）千葉県こども病院において開催し、55名（会員外7名）が参加した。内容は、特定給食施設の非常時の対応、非常食の整備、避難所運営ゲーム、千葉市緑消防署の協力を得て災害時の応急処置・救命救急などを行った。参加者には「短時間救命講習会参加証」が交付された。参加者にDAT千葉への登録を呼び掛け、29年度スタッフ研修会参加者および30年度スキルアップ研修会参加者の平成30年度JDA-DAT千葉登録者は、46名になった。登録者名簿は、災害時に備えパスワードを設けて、複数保持することとした。災害時の食料確保対策の啓発・普及については、現代食事考への執筆（2回）のほか、ホームページに「現代食事考・かしこく食べる」とは別に「災害時に備えた食料」を掲載した。

災害時における特殊栄養食品ステーションの設置などについて、県主管課との協議を行った。日本栄養士会および千葉県健康福祉部医療整備課の依頼を受けて、平成30年度関東地区DMAT訓練に協力して12月8日（土）、船橋医療センターで行われた訓練に非常災害対策委員幹事など6名が参加し、JDA-DATの目的、業務内容を紹介するとともに模擬として避難所における栄養相談を行った。

【①県民 ②ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-15 介護摂食嚥下等相談事業（学術部）

介護・摂食嚥下関係の食事や栄養に関して、他の関係職種の方々から本会に問い合わせがあった時に、速やかに専門的知識を有する者を紹介できるよう人材を確保して対応を図った。平成30年度は問合せがなかった。

【①関連専門種 ②ホームページ ③情報提供 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-16 健康づくり提唱のつどい（事業部）

県民の健康の増進と食育の推進を図り福祉の向上を目的に千葉県ヤクルト販売（株）の協賛を得て、9月27日（木）千葉県教育会館において同日開催した「健康づくり食生活講演会」終了後、引き続き開催した。

東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 専門副部長 青柳幸利氏による「運動と乳酸菌 シロタ株による疾病リスクの低減」の講演を行い、栄養関係団体及び県民400名が参加した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ、千葉県ヤクルト販売㈱の行う広報、千葉日報、毎日新聞千葉版、チラシの配布 ③講座・セミナー ④大学研究者、専門家、管理栄養士 ⑤主催 ⑥非該当】

2-17 栄養の日事業（学術部、事業部）

「栄養の日」（8月4日）が定められ、栄養週間（8月1日～7日）が設けられたことから、従来11月に行っていた栄養講座を栄養週間の8月5日（日）に移動して栄養の日の事業として開催し、県民に栄養・運動・休養に関する講演を行い、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸、介護予防などに役立てた。併せて、千葉県庁の本庁舎と中庁舎の連絡通路を栄養週間の間借用して、栄養の日の趣旨および食生活の改善に関するパネルの掲示を行い食と栄養を通じた健康づくりの啓発・普及に努めた。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報、毎日新聞千葉版、チラシの配布 ③講座・セミナー、展示 ④大学研究者、専門家、管理栄養士 ⑤主催、共催 ⑥非該当】

3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供（広報部）

ホームページを利用して、多くの人々に千葉県栄養士会の活動や各種事業の広報と食と栄養の観点から健康づくりに役立つ情報を提供した。また、ホームページ運営委員会を3回（6月、11月、2月）開催し、運営方法の充実に努めた。各職域事業部が開催する研修会の案内を掲載するとともに、研修会終了後は研修報告を掲載した。「現代食事考・かしこく食べる」の内容の見直しを行い、最新の情報に書き換えを行った。「地産地消レシピ」を季節に合わせて更新した。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士が記事を書いて編集 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 千葉日報「現代食考」記事の提供事業（広報部）

千葉日報社の協力を得て、毎週日曜日の千葉日報新聞「現代食考」欄に、年間執筆計画をもとに、国の健康づくりに関する月間や年中行事などを踏まえ、健康づくりや病気の予防、行事にまつわる料理や千葉県で生産される旬の食材の活用などに関する記事を会員の協力を得て提供した。平成30年度は53回分の記事提供となり、掲載された記事は冊子として作成した。千葉日報新聞に掲載された現代食考の記事は本会ホームページとリンクしていたが、新聞記事の購読有料化に伴いその記事の一部の紹介となり全文は読めなくなった。

【①県民 ②千葉日報新聞、ホームページ ③その他（記事提供） ④栄養士・管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 NHK千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」放送協力事業（事業部）

今年度はNHK千葉放送局の依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②NHK千葉放送局広報、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し（広報部）

食生活の改善や疾病の予防に関するパネルを作成し、「栄養の日」、地域の健康づくり等のイベントや健康づくりに関する行事などに貸し出しを行った。また栄養千葉、ホームページで本事業を紹介した。平成30年度は2件の貸し出しを行った。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④管理栄養士によるパネルの作成 ⑤単独 ⑥非該当】

3-5 千葉県中小企業団体中央会「情報誌」への健康づくりに関する記事の提供事業（広報部）

千葉県中小企業団体中央会情報誌「中小企業ちば」の「食と健康ワンポイント」欄に年4回記事を提供し県民の食と栄養を通じた健康づくりを支援した。

【①県民 ②千葉県中小企業団体中央会「情報誌」 ③その他（情報提供） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-6 湯けむり横丁・みはま「湯けむり新聞」への記事の提供事業（広報部）

千葉市美浜区のスーパー銭湯「湯けむり横丁・みはま」と連携して、毎月発行される「湯けむり新聞」に「食べる健康法」と題して、年間執筆計画を作成し記事を提供した。併せて、施設のお知らせコーナーへ「生活習慣病を予防する食事」をはじめとするリーフレット、テレフォン栄養相談の案内チラシなどをカタログスタンドを設置して健康づくりに関する情報の提供に努めた。なお、本事業は平成30年度で終了することとした。

【①県民 ②湯けむり新聞 ③その他（情報提供） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、講演会、展示会、集会などの内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどをホームページや自治体の広報誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

講演会などの講師は、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容からなる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することとおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に関係する事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、栄養士・管理栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項第4号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。
19号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。本事業は3つの柱から成り、(1) 1つ目の柱は、栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築。(2) 2つ目の柱は、栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰。(3) 3つ目の柱は、適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むこととおして、県民の食環境を望ましいものにすべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。

以下に掲げる個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。

以下に、平成30年度事業の実施概要を記載する。

IV. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業（定款第4条第1項第4号）

1. 連携構築事業

1-1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力（総務部、事業部）

関係機関、団体における地域および健康づくりに関する委員会・会議に参画するとともに、催しに協力して、健康づくりや疾病予防に関する各種事業の推進を通じて、連携の強化を図った。平成30年度の状況は以下のとおり。

<関係機関・関係団体>

（公社）千葉県医師会、（一社）千葉県歯科医師会、（公社）千葉県看護協会、（一社）千葉県歯科衛生士会、（一社）千葉県調理師会、（一社）千葉県診療放射線技師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県県民給食連合会、（公財）ちば県民保健予防財団

<関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織>

障害児（者）のための摂食嚥下指導事業推進委員会、千葉県小児保健協会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会、千葉県糖尿病対策推進会議・講習会

<催しへの協力>

以下の催しの「料理審査担当」を務めるとともに、「栄養士会会長賞」の授与を行った。

（一社）千葉県調理師会主催：調理師大会「料理コンクール」、千葉県歯科衛生士会主催：「かむ子・のびる子、元気な子」料理コンクール、八千代市主催：「八千代市野菜たっぷりメニューコンテスト」

【①県民 ②主催団体の広報、③その他（情報発信） ④専門的な知見を有する者 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 調理師試験受験準備講習事業などに対する協力事業（事業部）

特定給食施設で共に働く調理員や飲食店などで働く調理従事者の調理師試験合格率の向上を図り、衛生的で安全な食事の提供に資することを目的として、（一社）千葉県調理師会の行う調理師試験準備講習会の開催・運営に協力した。平成28年度から調理師試験科目が7科目から6科目になり、本会が公衆衛生、栄養学、食品学、調理理論、食文化概論を担当し、（公社）千葉県食品衛生協会が食品衛生を担当して受験準備講習会を実施することになった。県内5会場で開催された講習会に延べ22名（講師14名）が講師を務めた。

平成30年度からは、試験問題の作成が千葉県から外部の団体に依頼することになった。講習会の開催にあたり、調理師試験講師担当者会議を開催し、調理師試験の概要、受験準備講習会の趣旨、講師を務めるにあたっての留意事項などについて共通理解を深め講習内容の充実を努めた。年度末に翌年度の各種事業の適正・円滑な実施に向け、本会と調理師会の合同会議を平成31年2月15日（金）に開催した。

【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

1-3 「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」に基づく講習会への協力事業（事業部）

平成28年4月1日からの県条例の施行に伴い、（一社）千葉県調理師会の本部、支部が実施することになった講習会の開催にあたり、前年度に引き続き受験準備講習会の講師が「栄養と健康」「食文化」のほか依頼により「食品衛生」を担当して、研修会の適正・円滑な実施に協力した。平成30年度は5会場で開催した講習会において5名が講師として運営に協力した。

【①調理師 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業

2-1 栄養改善奨励賞の授与（学術部、総務部）

栄養改善に顕著な功績のあった栄養士・管理栄養士に対して栄養改善奨励賞の授与を行い、栄養士・管理栄養士の研究の奨励、振興を図ることを目的として行った。平成30年度は第19回千葉県栄養改善学会において発表された一般口演22題を対象に推薦委員会を開催して審査を行い、次の4題を表彰に値するとして理事会に推薦した。理事会において推薦のあったものを栄養改善奨励賞に決定し、2019年度定時総会式典において表彰することとした。

決定した内容は、口演3「大学生を対象とした朝食及び野菜摂取に関する普及啓発方法の評価」（千葉県健康福祉部健康づくり支援課 高橋希氏他）と口演10「回復期リハビリテーション病棟の栄養管理」（千葉県千葉リハビリテーションセンター 吉田直子氏他）口演15「学校・家庭・共同調理場をつなぐ食育」（成田市学校給食センター 藤巻由衣氏他）口演21「スプーンから箸への移行時期と働きかけの効果について」（千葉市保育所栄養士会 小野豊子氏他）であった。

【①栄養士・管理栄養士、栄養関係団体・個人 ②事務所掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準の設置 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 適正な食生活を支援する制度の整備

3-1 栄養教諭の配置促進事業（総務部）

栄養教諭の配置促進により、小・中学校における食育を推進することは健全な発育と生涯にわたる心も体も健康な児童生徒の育成につながるものであることから、栄養教諭の配置促進、市町村費負担の学校栄養職員への栄養教諭の門戸拡大などを盛り込んだ要望書を千葉県教育庁に12月19日（水）会長他2名が持参し、今までの増員の結果に御礼を述べるとともに、栄養教諭を配置することの成果などをアンケート結果などを基に説明して理解を得た。

【①学校給食に携わる栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 県・市町村行政栄養士配置促進事業（総務部）

日本栄養士会の要望活動趣旨に応じて実施しており、これまで、地域住民の食と栄養を通じた各種健康づくりの進展を目的に市町村行政栄養士の複数配置等について要望活動を実施してきたが、平成30年度においては高齢者の低栄養や生活習慣病重症化予防等の栄養課題への対策をより充実し効果をあげるために、健康づくり部門のみならず、高齢福祉・介護保険部門への管理栄養士の正規職員配置を促進することとなったため、県内市町村における高齢福祉・介護保険事業への行政栄養士の従事状況を県健康づくり支援課の協力を得て、実態把握を行い、要望活動に関する検討を行ったが具体的な市町村への要望活動には至らなかった。

【①県民 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 栄養士・管理栄養士の適正配置促進事業（総務部、組織部）

高齢社会が進行し健康づくりや生活習慣病の重症化予防、介護予防などの栄養管理の重要性が高まる中、県民の要望に応えるため無料職業紹介所を開設し、ホームページなどで事業者および栄養士・管理栄養士に利用を案内し、50件の求人、2件の求職があった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 食品の栄養成分表示の促進事業（事業部）

消費者に食を通じた健康づくりの必要性の理解を深め、健康づくりの推進に資するとともに、高齢者を対象とした配食サービスで提供される食事の栄養管理の充実に向け、これらの製造などに関わる事業者などの求めに応じて食品の栄養成分表示の促進を図ることの体制の整備を図ることとしたが、今年度は依頼がなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるように努めた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりに努めた。

その他、県民（地域住民）の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

V. 法人運営に関する事業

1. 各種事業の充実への取り組み

1-1 執行体制の強化（総務部）

事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各種委員会などを定期的に開催し、事業の充実に努めた。平成30年度は役員改選が行われたことから、業務の手引きを改定するとともに、役員研修会を行い、定款をはじめ各種規約の理解と業務所掌の徹底などを図り、事業の適正・円滑な実施に努めた。

1-2 事務局体制の充実（総務部）

事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして、事務の理解と事務処理の効率化に努めた。また会計事務の充実をもとに、経費の節減と効率的な執行に努めることなどを中心に、業務の適正かつ効率的な運営に努めた。また、法人として必要な職員の服務管理の徹底などに努めるとともに、報告、連絡、相談の基本事項が徹底できるように努めた。特に、事務室、会議室、簿冊の整理・整頓に努めた。

1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催（総務部）

委員会を年2回定期的に開催し、栄養ケア・ステーション事業の充実と円滑な実施に努めた。

1-4 職域事業部事務担当者研修会および担当者会議の開催（総務部）

7月21日（土）、各部との合同により職域事業部各役員を対象に、午前中は中堅役員のスキル向上を目的とした研修会を実施した。午後からは事務担当者会議として、今年度の事業および組織運営など基本的な事柄について理解を深めた。また、会計担当者会議を6月23日（土）に開催した。職域事業部・地域事業部における会計処理の方法について周知し、適正かつ円滑な会計処理の実施に努めた。

1-5 組織財政問題検討委員会の開催（総務部）

委員会を年2回開催し、第4次組織強化長期計画の推進をはじめとする、公益社団法人としての組織強化と財政基盤の強化などについて検討を進めた。

1-6 協賛会員対策の推進（総務部）

会報「栄養千葉」および「ホームページ」に優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載した。年2回の展示会の開催の他、新春賀詞交歓会を開催し協賛会員との交流を深めた。

1-7 非常災害時支援体制の整備（総務部）

日本栄養士会が進めるJDA - DAT事業の推進に向け、各職域事業部からの推薦された委員による非常災害対策委員会を設置し、委員会を開催し、スタッフ研修会の開催によるスタッフの育成、非常時のスタッフ確保のためのJDA - DAT千葉への登録依頼などを実施した。

1-8 会費の自動払込みの促進（総務部）

会費の早期納入および事務局の作業軽減、徴収時の事故防止の観点から、会費の「自動引き落とし」利用者の増加に向けて、会報「栄養千葉」や各種研修会実施時に会員への周知を行った。平成30年度の利用者は366名（昨年より19名減）となった。

1-9 財政基盤の強化（総務部）

会員の減少が続いている状況をふまえ、財政基盤強化のための会員および協賛会員の確保に努めた。併せて各種事業の経費削減に努めるとともに、会費未納者への納入促進について、文書の発送を行うとともに、各職域事業部と連携し電話での納入依頼などを行い、財政基盤の強化に努めた。

1-10 栄養士職場問題対応委員会の運営（総務部）

平成30年度は会員からの相談はなく、委員会は開催しなかった。

1-11 （公社）日本栄養士会関係会議への出席（総務部）

定時総会および諮問会議、京浜地区会長会議などの各種関係会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

1-12 諸規程の整備（総務部）

公益法人としてのより適正な組織運営を行うため、業務の実施状況や実態と規定内容について点検し、各種規定の整備を行った。

1-13 会報「栄養千葉」の発行（広報部）

4月、8月、12月に128～130号を発行した。記事は簡潔明瞭に努め、ページ数が増えないように配慮した。

1-14 谷口清司氏叙勲受章祝賀会（総務部）

谷口清司氏が平成30年秋の旭日双光章を受章したのを祝い、平成31年2月27日（水）に県および関係団体、協賛会員、会員等の参加を得て開催した。

2. 第4次組織強化長期計画の推進

第4次組織強化長期計画は重点事業を定めて事業を進めることとした。重点事業の平成30年の実施状況は、下記の通りである。

1. 執行体制・事務局体制の強化

(1) 執行体制の強化

事業および会議の年間予定表を作成し、これをもとに理事会をはじめとする会議を定期的に開催した。会議の開始前に次第に従って主要な事項については、関係役員が打合せを行って、役員間の意見の調整や意志統一を図り、事業の充実に努めた。

(2) 事務局体制の充実

事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして、会員管理事務をはじめとする事務業務の充実に努めた。

2. 会員の拡充

(1) 学生会員制度の創設

組織・財政問題検討委員会で検討し、現段階では、「会員制度」にはしないで、今まで通り、養成施設校ヘチラシや各職域事業部の研修会のお知らせを送付して、栄養士会をアピールした。

(2) 校外実習・臨地実習の充実

養成施設校と受入施設側の共通の理解が必要と思われる。事前打ち合わせや報告発表会等後のフォローも大切なため、意見を話し合う場が必要なのではないか。

(3) 新入会員に対する研修会参加費の軽減

現時点では、千葉県栄養士会では、検討されていない。

(4) 休会員制度の検討

日本栄養士会には、休会制度はなく、県栄養士会も表立って休会制度を示していない。

(5) 会員意識の高揚

会員意識の高揚については、各種の研修会を通じて務めた。

3. 基幹研修・職域研修の充実

(1) 基幹研修の充実

基幹研修の科目の充実については、参加状況などを踏まえて生涯教育委員会を開催し、基本研修を5～7単位組み入れ、各職域事業部から翌年度に実施したい実務研修科目を持ち寄って、調整し、5日間の日程で計画を作成した。

生涯教育の内容の充実と参加者の確保については、職域事業部の事業説明会や研修会などを通じて受講の奨励、前年度参加者への再度の開催案内の送付などにより参加者の確保に努めた。

(2) 職域研修の充実

職域事業部の研修の充実については、他職域事業部との共催や他職域事業部からの参加を募るなど効率的な運営に努めた。

また、アンケート調査や会員の声などをもとに、より求められる内容で開催に努めた。

研修会のチラシにQRコードを付ける等、若い方たちが容易に研修会に参加できる仕組み作りを行った。研修会の開催方法は単に受講するだけでなくグループワークを行い、仲間作りができる工夫をした。

会員外の高齢者施設のみではなく児童施設にも研修会の開催案内を送付し、また「入会案内」も研修会時に配布した。

4. 県民の健康づくりを支援する事業の充実

(1) 人材確保

各種の県民の健康づくりを支援する事業の充実に向けて、「栄養千葉」発行時に人材登録の案内および登録用紙を同封して人材の確保に努めた。

非常災害対策委員会において検討・準備を進め、千葉県子ども病院においてJDA-DATスタッフスキルアップ研修会を開催し、55名が参加した。非常災害が発生した時に、効率よく協力依頼ができるよう人材登録を行い、登録者は46名になった。

栄養士会事務所およびパレット柏にて、よりソリプロジェクト・人材育成研修会を開催し、41名の参加があった。

(2) 個別特性対応型自律支援事業の充実

29年9月から中建国保千葉土建の保健指導の受診率の向上をはかるため、健診時に腹囲のほかにリスクが1つ以上ある者を対象に初回面談が行われることになり、管理栄養士6名の参加を求められた。2019年度に向けて、人材の確保・研修を行って円滑に実施できるよう準備した。

(3) 集団特性対応型自律支援事業の充実

5. 食環境の整備を進める事業の充実

6. 法人運営に関する事業

(1) 非常災害時支援体制の整備

(2) マイナンバー制度への対応

3. 会議の開催

理事会

第1回 平成30年4月14日(土)

1. 平成29年度収支決算および監査報告について
2. 平成30年度定時総会の開催運営について
3. 平成30年度生涯教育研修会の開催について
4. 保健指導担当者会議の開催について
5. よりソリプロジェクト・人材育成研修会の開催について
6. 栄養の日事業について
7. 健康づくり栄養講座の開催について
8. その他

第2回 平成30年5月26日(土)

1. 代表理事の選出について

第3回 平成30年5月26日(土)

1. 平成30・31年度役割分担および顧問・参与の委嘱について
2. 平成30・31年度各種委員会委員について
3. 平成30年度事業・会議予定について
4. 平成30年度事業の執行について
5. 平成30年度生涯教育研修会の開催運営について
6. よりソリプロジェクト人材育成研修会の開催運営について
7. 栄養千葉129号・栄養士会雑誌25号発行計画兼原稿計画書(案)について
8. その他

第4回 平成30年7月7日(土)

1. 平成30年度事業の執行について
2. その他

第5回 平成30年9月1日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. 千葉県健康づくり提唱のつどいの開催運営について
3. JDA-DATスタッフスキルアップ研修会の開催運営について
4. 栄養千葉130号・栄養士会雑誌26号発行計画兼原稿依頼(案)について
5. 千葉県栄養改善学会の開催について
6. その他

第6回 平成31年1月19日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 平成30年度事業計画・収支決算の取りまとめについて
3. 2019年度生涯教育研修会の開催について
4. 2019年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 2019年度役員の選任について
6. 2019年度定時総会の開催について
7. 平成30年度収支見込みについて
8. その他

第7回 平成31年3月16日(土)

1. 平成30年度事業報告案の作成について
2. 2019年度事業計画・収支予算の決定について
3. 2019年度生涯教育研修会の日程について
4. 2019年度定時総会の開催について
5. その他

部長会

第1回 平成30年5月12日(土)

1. 平成30年度定時総会の開催運営について
2. 生涯教育研修会の開催運営について
3. よりソリプロジェクト・人材育成研修会の開催運営について
4. 平成30・31年度役割分担について
5. 平成30・31年度各種委員会委員について
6. 平成30年度事業の執行について
7. 平成30年度事業・会議予定について
8. 栄養千葉129号・栄養士会雑誌25号発行計画兼原稿計画書(案)について
9. その他

第2回 平成30年6月16日(土)

1. 平成30年度事業の執行について
2. その他

第3回 平成30年8月25日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. 千葉県健康づくり提唱のつどいの開催運営について
3. JDA-DATスタッフスキルアップ研修会の開催運営について
4. 栄養千葉130号・栄養士会雑誌26号発行計画兼原稿依頼(案)について
5. 千葉県栄養改善学会の開催について
6. その他

第4回 平成30年11月17日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 平成30年度事業計画・収支決算書の取りまとめについて
3. 平成31年度生涯教育研修会の開催について
4. 平成31年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 平成31年度定時総会の開催について
6. 平成30年度収支見込みと事業の見直しについて
7. 谷口参与叙勲受章祝賀会の開催について
8. その他

第5回 平成31年3月2日(土)

1. 平成30年度事業報告案の作成について
2. 2019年度事業計画・収支予算案などの作成について
3. 2019年度生涯教育研修会の日程について
4. 2019年度定時総会の開催について
5. その他

貸借対照表

平成31年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,477,385	13,231,914	1,245,471
未収金	0	376,318	△ 376,318
立替金	0	13,537	△ 13,537
前払費用	281,676	294,726	△ 13,050
流動資産合計	14,759,061	13,916,495	842,566
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	8,262,855	9,056,916	△ 794,061
基本財産合計	8,262,855	9,056,916	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,286,226	2,166,208	120,018
医療機関栄養業務実態調査預金	685,035	635,035	50,000
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	3,533,895	3,253,863	280,032
特定資産合計	7,105,156	6,655,106	450,050
(3) その他固定資産			
什器備品	16,678	45,568	△ 28,890
ソフトウェア	67,652	135,303	△ 67,651
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	384,330	480,871	△ 96,541
固定資産合計	15,752,341	16,192,893	△ 440,552
資産合計	30,511,402	30,109,388	402,014
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	130	△ 130
前受金	0	30,000	△ 30,000
前受会費	4,406,500	4,342,000	64,500
預り金	2,847,206	3,092,572	△ 245,366
流動負債合計	7,253,706	7,464,702	△ 210,996
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,283,670	2,163,670	120,000
固定負債合計	2,283,670	2,163,670	120,000
負債合計	9,537,376	9,628,372	△ 90,996
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	20,974,026	20,481,016	493,010
(うち基本財産への充当額)	(8,262,855)	(9,056,916)	(△794,061)
(うち特定資産への充当額)	(7,105,156)	(6,655,106)	(450,050)
正味財産合計	20,974,026	20,481,016	493,010
負債及び正味財産合計	30,511,402	30,109,388	402,014

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
② 特定資産運用益	50	50	0
特定資産受取利息	50	50	0
③ 受取入会金	131,000	124,000	7,000
受取入会金	131,000	124,000	7,000
④ 受取会費	18,404,000	18,330,000	74,000
受取会費	15,354,000	15,230,000	124,000
受取協賛会費	3,050,000	3,100,000	△ 50,000
⑤ 事業収益	7,150,524	7,375,851	△ 225,327
受取受講料 (会員)	1,411,900	2,149,300	△ 737,400
受取受講料 (会員以外)	407,200	468,900	△ 61,700
受取分担金	1,570,000	1,247,318	322,682
受取業務手数料	3,479,424	2,549,654	929,770
受取事業協賛金	280,000	808,679	△ 528,679
販売収益	2,000	2,000	0
雑収益	0	150,000	△ 150,000
⑥ 受取補助金	46,000	270,000	△ 224,000
受取地方公共団体他補助金	46,000	270,000	△ 224,000
⑦ 受取寄付金	300,000	0	300,000
受取寄付金	300,000	0	300,000
⑧ 雑収益	215,043	10,526	204,517
受取利息	8,613	47	8,566
雑収益	206,430	10,479	195,951
経常収益計	26,246,617	26,110,427	136,190
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	5,318,640	4,976,088	342,552
臨時雇賃金	256,500	222,450	34,050
退職給付費用	96,000	96,000	0
福利厚生費	516,240	399,870	116,370
会議費	595,056	698,694	△ 103,638
旅費交通費	1,477,018	1,533,399	△ 56,381
通信運搬費	1,288,914	1,339,818	△ 50,904
減価償却費	623,422	623,596	△ 174
消耗品費	1,107,712	1,485,043	△ 377,331
修繕費	0	0	0
印刷製本費	816,269	897,063	△ 80,794
光熱水料費	214,898	228,577	△ 13,679
賃借料	630,000	630,000	0
保険料	73,171	79,455	△ 6,284
諸謝金	2,952,253	3,996,233	△ 1,043,980

科 目	当年度	前年度	増 減
会場費	591,029	853,560	△ 262,531
リース料	311,673	369,334	△ 57,661
食料費	252,804	383,295	△ 130,491
支払負担金	327,807	354,287	△ 26,480
渉外費	40,000	35,940	4,060
表彰費	22,203	55,265	△ 33,062
租税公課	42,910	54,110	△ 11,200
消耗什器備品	0	0	0
雑費	126,690	129,635	△ 2,945
事業費計	17,681,209	19,441,712	△ 1,760,503
② 管理費			
給料手当	1,329,659	1,244,022	85,637
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	24,000	24,000	0
福利厚生費	129,060	99,968	29,092
会議費	684,498	571,530	112,968
旅費交通費	142,528	148,166	△ 5,638
通信運搬費	234,702	305,552	△ 70,850
減価償却費	267,180	267,256	△ 76
消耗品費	227,534	267,397	△ 39,863
修繕費	0	0	0
印刷製本費	1,623,143	1,570,433	52,710
光熱水料費	92,098	97,962	△ 5,864
賃借料	270,000	270,000	0
保険料	7,043	7,011	32
諸謝金	592,530	583,051	9,479
会場費	53,833	80,315	△ 26,482
リース料	133,573	158,286	△ 24,713
食料費	1,447,187	855,583	591,604
支払負担金	96,107	105,147	△ 9,040
渉外費	156,179	142,698	13,481
租税公課	21,325	23,190	△ 1,865
役員報酬	360,000	360,000	0
表彰費	37,987	22,700	15,287
消耗什器備品	0	0	0
雑費	142,232	90,917	51,315
管理費計	8,072,398	7,295,184	777,214
経常費用計	25,753,607	26,736,896	△ 983,289
当期経常増減額	493,010	△ 626,469	1,119,479
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	493,010	△ 626,469	1,119,479
一般正味財産期首残高	20,481,016	21,107,485	△ 626,469
一般正味財産期末残高	20,974,026	20,481,016	493,010
II 正味財産期末残高	20,974,026	20,481,016	493,010

平成30年度正味財産増減計算書内訳表

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合 計	備 考
	公1	公2	公3	公4	公益共通	公益事業計			
	科学技術 振興事業	人材育成 事業	自律支援 事業	食環境 整備事業					
1 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息									
特定資産運用益									
特定資産受取利息				32		32	18	50	
受取入会金						0			
受取入会金					65,500	65,500	65,500	131,000	新入会者131名
受取会費						0			
受取会費					7,677,000	7,677,000	7,677,000	15,354,000	会員1533名(29年度分6名含む) 職域事業部のみ11名
協賛会費					3,050,000	3,050,000		3,050,000	
事業収入						0			
受取受講料(会員)		1,276,600	135,300			1,411,900		1,411,900	生涯教育研修会 5日間分参加費他
受取受講料(会員以外)	30,000	235,500	141,700			407,200		407,200	研修会参加費、食育健康料理教室材料費
受取分担金			30,000			30,000	1,540,000	1,570,000	改善大会・食生活講演会、賀詞交歓会参加費
受取業務手数料		290,000	2,387,774	516,000	142,825	3,336,599	142,825	3,479,424	栄養ケアステーション事業、封入手数料
受取事業協賛金	50,000	50,000	180,000			280,000		280,000	研修会、ホームページ協賛金
販売収益		2,000				2,000		2,000	
補助金			26,000			26,000		26,000	JDA-DATスタッフ研修会
受取補助金等						0			
受取補助金				20,000		20,000		20,000	千葉市健康づくり大会
受取寄付金						0			
受取寄付金				300,000		300,000		300,000	柴田顕彰会基金
雑収益						0			
受取利息		8,579			17	8,596	17	8,613	受取利息
雑収益					4,430	4,430	202,000	206,430	総会、改善大会、賀詞交歓会他
経常収益計	80,000	1,862,679	2,900,774	836,032	10,939,772	16,619,257	9,627,360	26,246,617	
(2)経常費用									
事業費									
給料手当	628,131	2,531,142	1,816,315	343,052		5,318,640		5,318,640	職員給料・手当
臨時雇賃金			256,500			256,500		256,500	繁忙期臨時雇入れ職員
退職給付費用	11,337	45,687	32,784	6,192		96,000		96,000	
福利厚生費	60,967	245,681	176,295	33,297		516,240		516,240	社会保険、労働保険、健康診断
会議費	75,264	276,141	224,830	18,821		595,056		595,056	
旅費交通費	143,707	881,731	384,175	67,405		1,477,018		1,477,018	
通信運搬費	191,548	785,422	291,895	20,049		1,288,914		1,288,914	栄養士会雑誌等発送費含む
減価償却費	73,626	296,688	212,898	40,210		623,422		623,422	建物、什器備品
消耗品費	79,851	378,086	617,192	32,583		1,107,712		1,107,712	事務機器他消耗品
印刷製本費	390,936	300,738	122,868	1,727		816,269		816,269	封筒、振替用紙、入会案内他
光熱水料費	25,379	102,272	73,387	13,860		214,898		214,898	電気・ガス・水道料
賃借料	74,403	299,817	215,145	40,635		630,000		630,000	事務所地代
保険料	6,285	38,962	23,379	4,545		73,171		73,171	
諸謝金	111,370	1,362,476	1,086,907	391,500		2,952,253		2,952,253	生涯教育他講師等謝金
会場費	36,882	402,410	151,737	0		591,029		591,029	
リース料	36,808	148,327	106,436	20,102		311,673		311,673	事務機器リース料
食料費	97,008	132,268	23,528	0		252,804		252,804	
支払負担金	23,728	113,697	150,423	39,959		327,807		327,807	レンタルサーバー料、防犯契約
渉外費	0	0	0	40,000		40,000		40,000	
表彰費	0	0	0	22,203		22,203		22,203	栄養改善奨励賞
修繕費						0		0	
租税公課	5,067	20,423	14,653	2,767		42,910		42,910	
支払利息						0		0	
消耗什器備品						0		0	
雑費	13,556	60,694	51,556	884		126,690		126,690	
事業費計	2,085,853	8,422,662	6,032,903	1,139,791		17,681,209	0	17,681,209	
管理費								0	
給料手当							1,329,659	1,329,659	職員給料・手当
臨時雇賃金							0	0	
退職給付費用							24,000	24,000	
福利厚生費							129,060	129,060	社会保険、労働保険、健康診断
会議費							684,498	684,498	栄養改善大会含む
旅費交通費							142,528	142,528	
通信運搬費							234,702	234,702	電話料、メール便、切手
減価償却費							267,180	267,180	建物、什器備品
消耗品費							227,534	227,534	事務機器他消耗品
印刷製本費							1,623,143	1,623,143	栄養千葉、封筒、振替用紙他
光熱水料費							92,098	92,098	電気・ガス・水道料
賃借料							270,000	270,000	事務所地代
保険料							7,043	7,043	
諸謝金							592,530	592,530	税理士、司法書士謝金
会場費							53,833	53,833	改善大会含む
リース料							133,573	133,573	事務機器リース料
食料費							1,447,187	1,447,187	総会、栄養改善大会、新春賀詞交歓会
支払負担金							96,107	96,107	防犯契約、日赤ほかへの寄付
渉外費							156,179	156,179	
表彰費							37,987	37,987	
租税公課							21,325	21,325	
役員報酬							360,000	360,000	監事
雑費							142,232	142,232	
管理費計	0	0	0	0	0	0	8,072,398	8,072,398	
費用合計	2,085,853	8,422,662	6,032,903	1,139,791		17,681,209		25,753,607	
公益事業比率	8.1	32.7	23.4	4.4		68.7	31.3		

財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			
	現金	手元保管		
		現金	運転資金として	139,596
		職域事業部・千葉地域事業部現金	運転資金として	369,366
	普通預金	千葉銀行みつわ台支店		
		普2006576	運転資金として	672,892
		普2020609	運転資金として	282,457
		普3192700	運転資金として	116,474
		普3409598	運転資金として	341,765
		普3006299	運転資金として(千葉地域)	0
		千葉信用金庫作草部支店		
		普0682242	運転資金として	321,713
		普0685151	運転資金として	1,727,791
	普通貯金	ゆうちょ銀行		
		10580-15293221	運転資金として	50,139
		10570-30174421	運転資金として	1,463,233
		10530-10135981	運転資金として(公衆衛生)	158,636
		10520-37125371	運転資金として(医療)	172,444
		10520-54350591	運転資金として(地活)	47,840
		10130-79051931	運転資金として(研教)	84,425
	10540-39470871	運転資金として(学校)	196,691	
	10540-9029131	運転資金として(福祉)	402,471	
振替口座	ゆうちょ銀行			
	00110-7-779711	運転資金として	223,168	
	00180-2-94011	運転資金として	7,403,174	
	00180-0-576091	運転資金として	303,110	
		【現金預金計】	14,477,385	
未収金			0	
		【未収金計】	0	
立替金			0	
		【立替金計】	0	
前払費用	千葉県教育会館に対する前払額	栄養改善大会会場代の内金	10,000	
	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	70,956	
	千葉市文化振興財団に対する前払額	生涯教育研修会会場費	81,660	
	千葉県教育会館他に対する前払額	各職域事業部経費の前払額	44,060	
	紅谷正男氏に対する前払額	地代4月分	75,000	
		【前払費用計】	281,676	
流動資産合計				14,759,061
(固定資産)				
基本財産	建物	115.7㎡	共有財産	
		千葉市若葉区殿台町122	うち公益目的保有財産 70.0%	8,262,855
		平屋1階建	うち管理目的の財源 30.0%	
			【基本財産計】	8,262,855

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	従業員の退職金の支払いに備えた積立資産である。	2,286,226
	医療機関栄養業務実態調査預金	ゆうちょ銀行	県内医療機関栄養業務実態調査事業の積立資産である。	685,035
	全国公衆栄養活動研究会預金	ゆうちょ銀行	全国公衆栄養活動研究会事業の積立資産である。	600,000
	柴田顕彰会預金	千葉信用金庫作草部支店	栄養改善功労者を顕彰するための事業の積立資産である。	3,533,895
			【特定資産計】	7,105,156
その他固定資産	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	16,678
	ソフトウェア	会計ソフト		67,652
	敷金・保証金	紅谷正男氏に対する敷金支払額	敷金として	150,000
		紅谷正男氏に対する保証金支払額	保証金として	150,000
		【その他固定資産計】	384,330	
固定資産合計				15,752,341
資産合計				30,511,402
(流動負債)	未払金			0
			【未払金計】	0
	前受金			0
			【前受金計】	0
	前受会費	会員からの預り額	平成31年度の会費及び入会金の預り額 公衆衛生 56名分 560,000 医療 139名分 1,397,500 学校 26名分 262,000 福祉 92名分 923,000 地活 112名分 1,123,000 研教 14名分 141,000	【前受会費計】
預り金	会員からの預り額 29・30年度分 職員、税理士他からの預り額 退会会員他からの預り額	日栄会費の預り額 425名分 2,730,000 源泉所得税の預り額 34,706 退会会員他に対する会費の返金分として 82,500	【預り金計】	2,847,206
流動負債合計				7,253,706
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの	2,283,670
			【退職給付引当金計】	2,283,670
固定負債合計				2,283,670
負債合計				9,537,376
正味財産				20,974,026

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。
什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。
- (2) 引当金の経常基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	9,056,916	0	794,061	8,262,855
小 計	9,056,916	0	794,061	8,262,855
特定資産				
退職給付引当資産	2,166,208	120,018	0	2,286,226
医療機関栄養業務実態調査預金	635,035	50,000	0	685,035
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	0	600,000
柴田顕彰会預金	3,253,863	300,032	20,000	3,533,895
小 計	6,655,106	470,050	20,000	7,105,156
合 計	15,712,022	470,050	814,061	15,368,011

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	8,262,855	0	(8,262,855)	0
小 計	8,262,855	0	(8,262,855)	0
特定資産				
退職給付引当資産	2,286,226	0	(2,286,226)	(2,286,226)
医療機関栄養業務実態調査預金	685,035	0	(685,035)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	3,533,895	0	(3,533,895)	0
小 計	7,105,156	0	(7,105,156)	(2,286,226)
合 計	15,368,011	0	(15,368,011)	(2,286,226)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	17,262,213	8,999,358	8,262,855
什器備品	1,495,829	1,479,151	16,678
ソフトウェア	338,256	270,604	67,652
合 計	19,096,298	10,749,113	8,347,185

以上のとおり相違ありません。


平成31年4月11日


公益社団法人 千葉県栄養士会
会長 杉崎 幸子 印
副会長 鯨岡 春生 印
副会長 高澤 博道 印

監査報告書

公益社団法人千葉県栄養士会
会長 杉崎 幸子 様

平成31年4月11日

公益社団法人 千葉県栄養士会
監事 石橋 裕子 

公益社団法人 千葉県栄養士会
監事 酒井 秀大 

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 各監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) 各監事は、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。